

神戸大学の挑戦を支える

神戸大学基金

The Kobe University Fund



ごあいさつ

世界に伍して戦う神戸大学の挑戦

神戸大学の教育研究活動に対し、日頃より温かいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

神戸大学は1902年に創立し間もなく120周年を迎えますが、その間、様々な試練を乗り越えてまいりました。また、2004年の国立大学法人化以降も本学を取り巻く環境は厳しく、現在も大学の機能強化、グローバル化対応、ガバナンス強化など、喫緊の課題が山積しております。

この荒波を乗り越って新たな希望に向かって進むために、今般、神戸大学の挑戦として、今後10年間の戦略をまとめました。概要を本冊子でご報告致しますので是非ともお目通しいただきたく存じます。

これらの戦略を達成し、世界に伍して戦うためには、財政的基盤の充実が不可欠であります。現在、学内運営の効率化を進めておりますが、加えて、学内教職員はもとより卒業生、学生保護者、並びに、企業の皆様に財政的ご支援のお願いをしているところであります。

何卒この趣旨をご理解いただき、神戸大学基金にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



神戸大学長 武田 廣

「神戸大学基金」について

神戸大学基金(2006年(H18)創設)は、大学運営のために国から交付される資金(運営費交付金)が年々減額される中、「世界に伍して戦う」ための活動に必要な資金を募っております。

以前から、主に学生支援を中心としたご寄附をお願いしておりますが、学生支援のために利用している大学全般への一般寄附の寄附残高は、年々減少しているのが現状です。今後も学生への継続的な支援を続けるため、また、神戸大学が更なる飛躍を遂げるためにも、神戸大学基金の拡充に向けご理解とご協力をお願い致します。

神戸大学基金では、
今後下記を中心にご寄附を募ってまいります。

国際戦略

グローバルユニバーシティ
タウン構想

教育戦略

海外留学等への助成/
奨学金による経済的支援等

学生による
自主活動

課外活動部室棟建設

※神戸大学基金へのご寄附は、税制上の優遇措置の対象となり、確定申告を行っていただくと、所得税や個人住民税が軽減されます。

神戸大学の挑戦

先端研究・文理融合研究で
輝く卓越研究大学へ



「学理と実際の調和」の伝統を発展させ、連携・融合の力を最大限に発揮する卓越研究大学として世界最高水準の教育研究拠点を構築し、現代及び未来社会の課題を解決するための新たな価値の創造に挑戦し続けます。

研究

文系・理系という枠を超えた
先端研究、
新たな学術領域の開拓・展開

教育

地球的諸課題を解決するために
先導的役割を担う
人材の育成

国際

グローバル・ハブ・キャンパスの
実現

社会貢献

先端的技術の開発と
社会実装の促進

目次

| | |
|------------------------|----|
| 神戸大学の挑戦 研究戦略 | 3 |
| 神戸大学の挑戦 教育戦略 | 5 |
| 神戸大学の挑戦 国際戦略 | 9 |
| 神戸大学の挑戦 財務戦略 | 11 |
| 神戸大学基金の実績と目標 | 13 |
| 神戸大学基金へのご協力をお願い | 15 |
| ご寄附の方法 | 17 |
| 感謝の気持ちを末永く 税制上の優遇措置 | 18 |

神戸大学公式
マスコットキャラクター
神大うりぼー



目指せ！ノーベル賞

現代・未来の課題を解決し
新たな価値を創造

世界トップレベルの
フラッグシップ国際研究拠点形成

① 先端研究の推進

～世界最先端の学術領域へ～

■ 次世代ライフサイエンス国際研究所

健康増進に資する
「ライフイノベーション」を創出する

■ 海洋底探査センター(KOBEC)研究拠点構想

これからの世界をリードしてゆく海底フロンティア人材を神戸から



② 社会課題を解決する文理融合研究の推進

～神戸大学の知を結集して社会に貢献し新しい学術領域を切り開く～

■ 社会システムイノベーションセンター

社会システムイノベーションを通じて社会課題の解決に貢献する文理融合研究を推進する

■ 人文情報の文理融合研究と地域学創出プロジェクト

日本の抱える地域課題について広く基盤的な知を提供する

■ 未来世紀都市学ユニット

百年の計、千年の夢を描ける新しい生活空間と環境のランドデザインを提供できる文理医融合

■ 計算社会科学研究センター

社会科学、データサイエンス、計算科学の新しい文理融合領域を創出する

■ アジア健康科学フロンティアセンター

神戸発福祉医療システムの構築を目指す

■ 文理融合による「こころの生涯健康学」研究の創出

社会全体のこころの諸問題を包括した処方箋を開発する



世界トップレベルの研究推進
世界トップレベルのイノベーション創出

世界の研究・
新産業をリード

ALL-神戸大学が3つの環で
調和し未来社会へ挑戦

人文・人間科学系
学部・研究科

社会科学系
学部・研究科

自然科学系
学部・研究科

生命・医学系
学部・研究科

知の創出と集積

文理融合で学術領域を創出

新価値を社会と共創

新しい社会システムをデザインし
大学の知を社会実装

人文・人間科学系

社会科学系

自然科学系

生命・医学系

*文頭の ■ は、4つの学術系列の文理分野融合を示しています。

③ 先導的研究成果の社会実装への取り組み

～伝統ある社会科学系の力で先端研究を社会へ～

■ 統合膜工学研究センター

革新膜の社会実装による、グリーンイノベーションと持続的社会的実現を目指す

■ 数理・データサイエンスセンター

データ駆動型社会を牽引するイノベーション創出型人材の育成

■ 合成バイオ研究拠点

探索から合理的設計「合成バイオ」へ

■ 認知症予防プロジェクト

神戸大学を認知症予防先進大学に



④ ポートアイランドの研究施設群の集積

～神戸からイノベーションの発信拠点となるイノベーションアイランドへ～

■ 統合研究拠点

社会と先端融合研究の本格的な連携拠点

■ 統合研究拠点アネックス棟

次世代バイオ医薬品の製造技術基盤の確立と人材育成

■ 国際がん医療・研究センター

次世代医療、次世代新薬、先端医療機器、先端的外科的治療を備えた特殊病棟体制

■ 国産医療用ロボット等革新的医療機器の統合型研究開発・創出拠点

先端医療機器、国産初高度外科医療ロボットの開発と実用化を目指す



先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学を目指して、着実に進化しています。



多様なプログラムで

- ・卓越した研究者
- ・ビジネス界のグローバルリーダー
- ・理工系イノベーション人材
- ・地域の発展に貢献する人材
- ・協働型グローバル人材
- ・新たな文化を創造する人材
- ・高度医療人材
- ・高度専門職業人材

の育成を実現

グローバル
イノベーション人材

グローバル化

協働型
グローバル人材

文理・分野融合

先端研究の臨場感の
なかでの専門教育

人文・人間科学系
学部・研究科

社会科学系
学部・研究科

自然科学系
学部・研究科

生命・医学系
学部・研究科

高度専門職教育

リカレント教育

実践教育

社会人基礎力

人文・人間科学系

社会科学系

自然科学系

生命・医学系

*文頭の は、4つの学術系列の文理分野融合を示しています。

1 グローバル化対応加速プログラム

海外体験型プログラム

神戸グローバルチャレンジプログラム 全学部

国際的なフィールドで学外学修活動を行い、
チームワーク力・自己修正力・課題挑戦力を付与する

グローバルスタディーズプログラム 国際人間科学部

グローバル共生社会実現のためにリーダーシップを発揮
できる人材の育成を目指し、学部生全員(1学年370名)
を海外のフィールドに



留学を組み込んだプログラム

KIBERプログラム 経営学部

1年間の留学を組み込み、4年で卒業するコース

KIMERAプログラム 経営学部 経営学研究科

1年間の留学後に、学部を3.5年で卒業し残り1.5年で修士の学位を取得

5年一貫経済学国際教育プログラム (IFEK) 経済学部 経済学研究科

海外提携校での学びを組み合わせ、5年で修士号を取得

EUエキスパート人材養成プログラム (KUPES) 国際人間科学部 法学部

EUの専門家育成

経済学部 関連研究科

教育の国際通用力の強化プログラム

■ オックスフォード日本学プログラム 文学部
オックスフォード大学日本語専攻2年生
全員が神戸大学へ1年間留学

■ オックスフォード夏季プログラム 全学部
オックスフォード大学での
英語・イギリス文化研修

■ キャンパスアジアプログラム 国際協力研究科
東アジアにおけるリスクマネジメント専門家育成

**■ ASEAN諸国との連携・協働による
次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成** 医学部 医学・保健学研究科

■ ダブルディグリー・プログラム 人文学・国際文化学・法学・経済学・経営学・国際協力・医学研究科
海外協定大学と双方の学位を取得



英語による教育プログラム

■ グローバルマスタープログラム(GMAPs) 法学・経済学・経営学研究科
英語による講義で修士の学位を取得

■ 自然科学系サマースクール 理学・工学・システム情報学・農学・海事科学・科学技術イノベーション研究科
海外協定校との学生交流

■ 自然科学系プレミアムプログラム 理学・工学・システム情報学・農学・海事科学研究科
博士課程学生の国際共同研究派遣

■ 開発政策特別コース 国際協力研究科
海外からの留学生・途上国の若手行政官の教育

■ 生命医学系国際コース 保健学研究科
英語だけで博士課程を修了

■ 現代日本プログラム 全学部
交換留学生を対象とした日本社会・文化・研究・技術等の紹介



2 文理融合・分野融合プログラム

科学技術イノベーション研究科

日本初の文理融合型大学院
最先端の研究成果を経営学の知見を用いて
社会実装する科学技術アントレプレナー育成コース

科学技術イノベーション研究科の目的

木や草などの植物から、微生物機能を利用し、バイオ燃料やバイオ由来化成品の生産を行い、脱石油資源の循環型社会の実現を目指す

HPC(スパコンを利用する高性能計算)とIoT(広域ネットワーク化情報技術)の連携により、情報通信デバイスとIT応用技術分野で世界最先端の研究開発を推進する

バイオプロダクション
分野

先端IT分野

アントレ
プレナーシップ
分野

先端膜工学分野

先端医療工学分野

膜を用いて水浄化やガス分離を行うことで、省エネ・創エネプロセスによる資源循環型社会の実現を目指す

iPS細胞やコンピュータシミュレーション、新規ワクチン製造基盤技術などの革命的医療開発手段と医療生産特区の活用により新規治療法および診断法創出を総合的に推進する

人文・人間科学系

社会科学系

自然科学系

生命・医学系

*文頭のは、4つの学術系列の文理分野融合を示しています。

ESD (Education for Sustainable Development) コース

全学部

持続可能な開発のための教育

データイノベーションプログラム

全学部

数理・データサイエンス リテラシーを身につけた人材の育成

法経連携専門教育プログラム

法学部

経済学部

エコノ・リーガル リテラシーを身につけた人材の育成

高度教養セミナー

全学部

異なる分野の学生と協働して様々な課題に取り組むことにより、学生の自主性、コミュニケーション能力、チームワークなどの社会的能力や、課題解決能力を身につける



3 高度専門職教育

- 法科大学院** 法学研究科
国内外の実務家と共同しグローバル化に対応する次世代型ロースクール
- トップローヤーズ・プログラム(TLP)** 法学研究科
若手弁護士を対象に弁護士と教授陣が指導する博士号プログラム
- MBA** 経営学研究科
国立大学初の社会人ビジネススクール
- インダストリアルマスター／ドクタープログラム** 工学研究科
実践的研究テーマについて修士/博士論文を指導
- 「独立企業家」「企業内企業家」育成プログラム** 科学技術イノベーション研究科
博士課程後期課程
企業の技術者が企業家精神を学ぶ



4 実践教育

- 神戸大学「志」講義、** 全学部
社会基礎学(産・官・政 トップリーダーによる連続リレー講座)、
トップマネジメント講義(ビジネスリーダーとの議論と対話)、
凌霜寄附講義
グローバル人材に必要な教養
- オープンイノベーション** 社会科学系学部 自然科学系学部
ワークショップ
異なるバックグラウンドを持った学生・教員が、企業や自治体等と協働して、実社会の課題解決を目指す
PBL(Project Based Learning)を行う



文理・分野融合を特色としたグローバル教育により、学生の知への探求姿勢を育成しています。



世界各地から優秀な人材が集まり、世界へ飛び出していく

グローバル・ハブ・キャンパス

としての機能を強化



※各目標値は2022年度

1 国際ネットワーク

海外協定校や国内外の同窓会等とのネットワークを強化し、神戸大学のグローバル化を推進することにより、国内外の優秀な学生と研究者の流動性を高め、人材及び知の循環を活発化させます。

2 学生の海外派遣

ダブルディグリーなど国際通用性・互換性のある教育プログラムを展開し、世界的な学習の場での経験を学生に積ませることにより、地球の諸課題を解決するための先導的役割を担う人材を輩出します。

3 留学生の受け入れ

国際通用性・互換性のある教育プログラムの展開、英語のみで学位取得が可能なコース及び英語による授業の充実、将来のキャリアを見据えた日本語教育、修学・生活サポートの充実などにより、世界から優秀な人材を呼び込み、大学内のダイバーシティーを高めます。

4 グローバルキャリア形成支援

ビジネスコミュニケーション教育、インターンシップ、キャリアセミナーなどのキャリア教育を実施することにより、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせます。自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を涵養した世界で活躍できる実践型グローバル人材を育成します。

5 国際共同研究の創成

若手研究者の長期海外派遣や、外国人研究者の招聘などにより、研究者の交流を促進し、海外の中核的機関との国際共同研究を創成します。



6 世界各国の優秀な人材と先進的な情報を集約する グローバルユニバーシティタウン構想

海外交流拠点として世界へはばたく大学を目指し、世界から優れた人材が集い、研究や交流を活性化する、「神戸大学インターナショナル・ハウス(仮称)」の新設を計画しています。

神戸大学インターナショナル・ハウス(仮称)

- 留学生・日本人学生の混住寮
留学生と日本人学生が日常的に交流できる施設
- 外国人研究者のゲストハウス
海外から招聘した研究者が滞在できる施設
- オープンスペース・スタジオ
イベントや講義等に利用できる大型教室
- 24時間利用可能なラーニングcommons
図書館や自習室を併設した学習支援空間

- 共用ラボ・オフィス
オンラインでグループ討議も可能なワークスペース



国内外同窓会

海外協定校・海外事務所
海外拠点

神戸大学
インターナショナル・ハウス(仮称)
世界各地から優秀な人材が集まる交流拠点に

国内外企業

地域

グローバルユニバーシティタウン構想が目指すもの

① 先進的な研究や学びを支援する施設整備

海外からの優秀な人材の受け入れや研究の発展を促す体制を整え、「世界をリードする大学」としての機能を強化します。



② 真に世界で通用する人材の育成

施設を異文化交流体験プログラムの場として活用。世界レベルの研究・コミュニケーション能力を育成します。



③ 若年層へのグローバル教育の実現

附属中等教育学校と連携し、留学生や研究者との交流・学修プログラムを実施。若年層から国際性を養います。



海外中核大学との共同研究や連携教育の重層的な交流を図り、
グローバル・ハブ・キャンパスとしての機能を飛躍的に高めます。



神戸大学ビジョンの達成に向けて—新たな挑戦

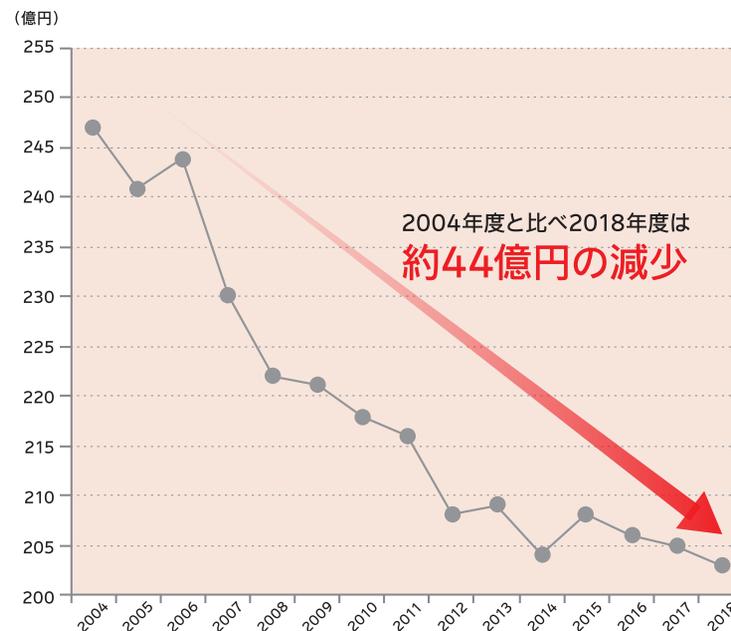
神戸大学の運営における主な財源のひとつが運営費交付金です。これは2004年の国立大学法人化にともない、国から交付されている補助金ですが、毎年度 ▲1.6% (≒ 2.4億円) * が減額され、2004年度の法人化以降、既に約44億円が減額されています。

そこで、最低限必要なのが、基盤的経費の安定的な財源確保です。

さらに、神戸大学ビジョンの達成に向けた「教育」「研究」「国際」等の戦略を推進するために、優秀な人材の育成・獲得及び教育研究環境(建物・先端研究設備等)の増強が不可欠となります。

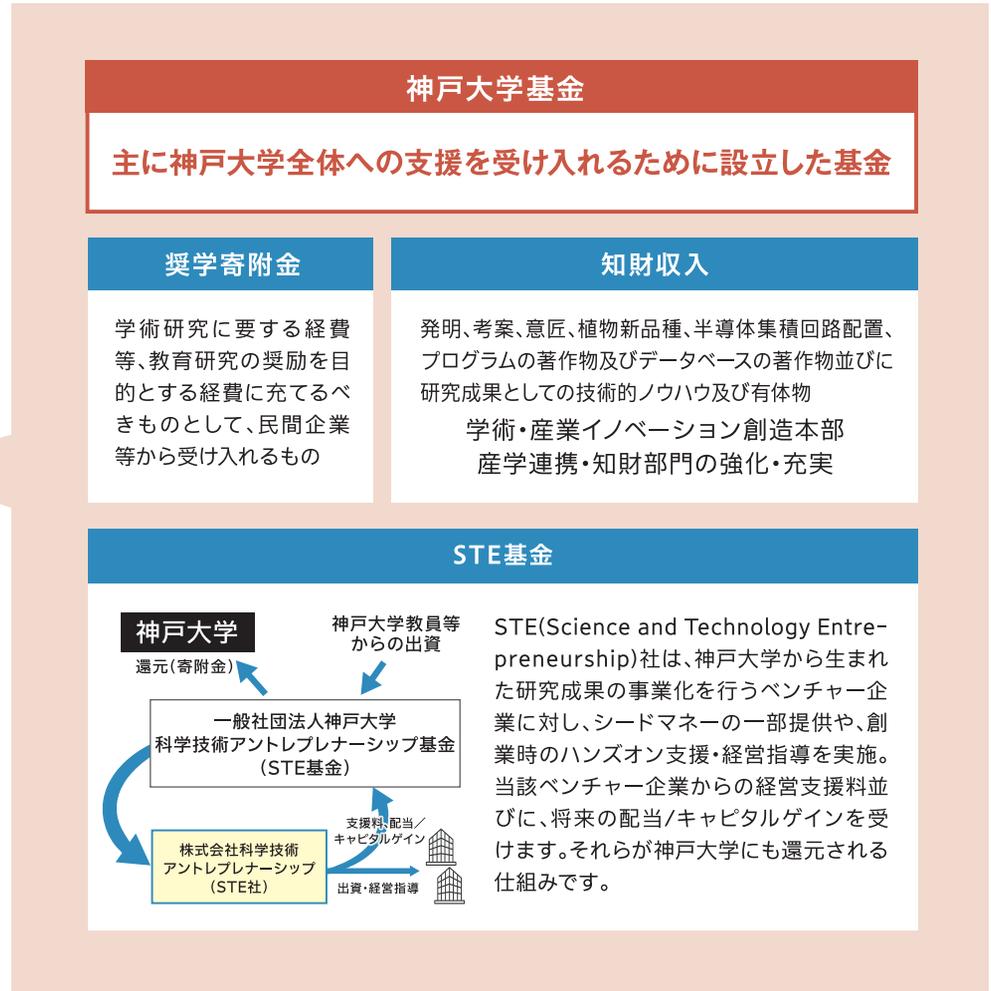
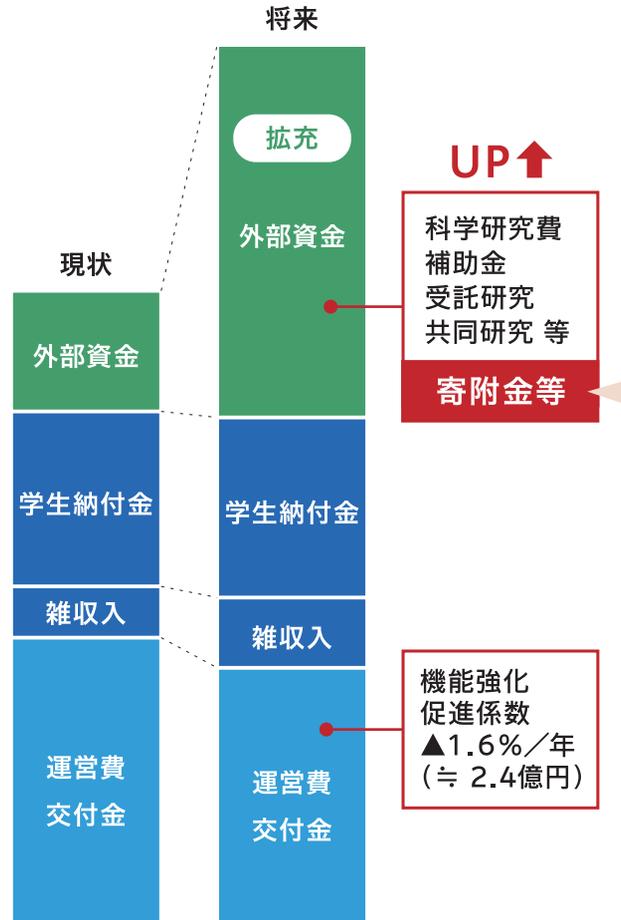
※評価に基づき「機能強化経費の増額」及び「機能強化促進補助金」に再配分されます。

神戸大学の運営費交付金の推移



神戸大学の新たな挑戦は、従来以上に外部資金等を増加させ、安定的な財源を確保しなくては実現できない状況にあります。

収入の構造

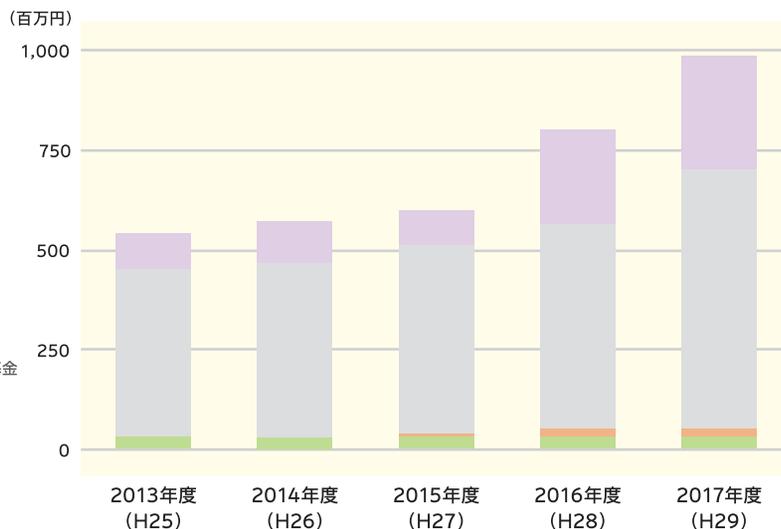


神戸大学基金の実績と目標

寄附受入額の推移

(万円)

| | 2013年度 (H25) | 2014年度 (H26) | 2015年度 (H27) | 2016年度 (H28) | 2017年度 (H29) |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ①一般(大学全般基盤事業)基金 | 3,783 | 3,153 | 3,562 | 3,369 | 3,022 |
| ②修学支援事業基金 | - | - | 131 | 1,180 | 1,479 |
| ③寄附講座 | 42,200 | 43,400 | 47,400 | 54,250 | 63,900 |
| ④その他用途指定寄附 | 11,257 | 13,528 | 11,147 | 26,718 | 31,172 |
| 合計 | 57,240 | 60,081 | 62,240 | 85,517 | 99,573 |



神戸大学基金の現状

2006年(H18)の創設以来、神戸大学基金は、卒業生、学生保護者、企業など、多くの皆様にご支援いただいています。それらのご寄附は、「基盤事業」をはじめとする様々な事業に活用させていただいております。

しかしながら、既に活用済みのもの、また用途指定のものを除くと、学生を支援する事業の残高は、年々減少しております。

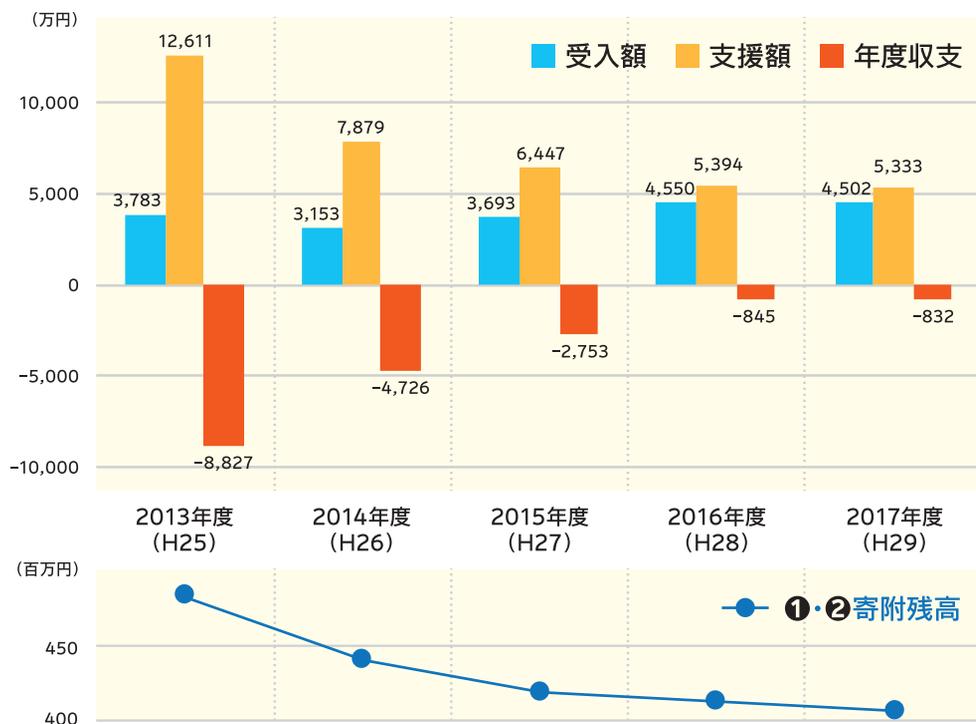
①一般(大学全般基盤事業)基金

学生支援を中心とした多彩な活動を継続的に支援していく事業へのご寄附です。

②修学支援事業基金 2016年(H28)設置

経済的な理由で修学が困難である学生等を支援する事業へのご寄附です。

①「一般(大学全般基盤事業)基金」及び②「修学支援事業基金」の推移



支援を必要とする学生は多数いますが、寄附残高に鑑み、支援枠を縮小せざるを得ない状況です。しかしながら、受入額が支援額に追いついていないため、寄附残高が年々減少してきております。支援を必要とする学生や戦略的プログラム実現のため、継続した支援と神戸大学基金の更なる拡充に向け、ご理解とご協力をお願いします。

①「一般(大学全般基盤事業)基金」及び②「修学支援事業基金」の目標額

2028年度 受入額目標 5億円



より充実した学生生活と、将来のキャリア形成に向けた各種プログラム実現のため、皆様のご支援をお願い申し上げます。

神戸大学基金へのご協力をお願い

神戸大学教育戦略へのご支援

神戸大学ビジョン実現に向けて、「志」を持ったグローバル人材育成を中心とした学生支援を重点的に実施します。また、経済的な理由で修学が困難である学生への支援を実施します。

□ 優秀な学生の海外留学／研修への派遣支援

目標：海外派遣 【現状 890名／年 → 1,200名／年】

例：神戸グローバルチャレンジプログラム、ダブルディグリープログラムへの院生派遣、協定校への学部生派遣への助成

□ 海外からの優秀な留学生の受け入れ

目標：海外留学生 【現状 1,200名／年 → 2,000名／年】

例：ダブルディグリープログラム、オックスフォード日本学プログラム、協定校からの受け入れ学生への助成

□ 学生への経済的支援

目標：学部新1年次奨学金 【現状 60名 → 120名／年】

例：緊急奨学金、学部新1年次奨学金

□ 学生のキャリア形成支援と首都圏における神戸大学のプレゼンス向上に向けた活動への支援

例：東京オフィスなどを活用した、在学生の首都圏での活動支援、及び、首都圏における情報発信業務／イベントなどへの支援業務

企業・団体・個人の皆様には学生向け冠奨学金・冠寄附のご検討をいただければ幸いです。



学生による自主活動へのご支援

□ 鶴甲第1キャンパス・課外活動部室棟建設構想

現存のプレハブ棟を、鉄筋コンクリート3階建ての部室棟に建て直し、不足している部室数の解消並びに安全快適な課外活動環境を整備する。



課外活動部室棟建設イメージ

□ 大会遠征の支援



オフショアセーリング部
「Student Yachting World Cup 2017」優勝



女子タッチフットRooks
全日本王座決定戦さくらボウル4連覇

□ ボランティア活動の支援



震災経験を持つ大学として
神戸大学東北ボランティアバスプロジェクト



課外活動部室棟へのネーミングライツもご検討ください。

神戸大学 国際戦略(グローバルユニバーシティタウン構想)へのご支援

「神戸大学インターナショナル・ハウス(仮称)」 ※詳細についてはP10をご覧ください。

具体的な施策

■ 充実の施設で国際的研究や学びを応援

海外からの留学生や外国人研究者等の受け入れ体制を整えます。

■ 異文化交流体験プログラムにも注力

問題発見型リーダーシップを発揮できるグローバル人材を育成します。



■ 学内の交流・学修プログラムを整備

附属中等教育学校との連携を図り、世界経済を牽引する人材の早期育成を目指します。

建物・部屋に企業名等を冠することも可能です。



神戸大学研究戦略へのご支援

個別案件(主に企業・団体の皆様に)

神戸大学を拠点にした産官学連携による大型共同研究プロジェクトの創出、並びに、受託研究・共同研究・共同研究講座・寄附講座、奨学寄附金・各種ネーミングライツ等へのご支援

先端研究分野

先端研究の推進へのご支援
 先導的研究成果の社会実装への取り組みへのご支援
 社会課題を解決する文理融合研究へのご支援
 ポートアイランドの研究施設群へのご支援

■ お問い合わせ先

企業・団体の皆様からの神戸大学研究戦略へのご支援に関しては、下記までお願い致します。追って「学術・産業イノベーション創造本部」からご連絡させていただきます。

神戸大学 基金推進室 **TEL** 078-803-5414

ご寄附の方法



同封の払込取扱票から寄附する

本学指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください。

- ゆうちょ銀行 ● 郵便局
- 払込取扱票に記載の銀行(三井住友銀行・三菱UFJ銀行・みずほ銀行・みなと銀行) 本支店間では、振込手数料がかかりません。



① 払込取扱票に記入する



② 金融機関窓口へ

なお、金融機関の窓口及びATMで10万円を超える現金振込を行う場合は、振込をされる方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポート等)のご提示が必要となります。



インターネットから寄附する

神戸大学基金ホームページから、下記のいずれかの決済方法をお選びいただき、お申込みください。(継続的など寄附もお申込みいただけます。)

決済方法 クレジットカード/インターネットバンキング/銀行振込

ご利用いただけるカードは、「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」です。



神戸大学基金

上記以外にもご寄附の方法がございます

遺贈等相続関係財産によるご寄附

ご遺産や、相続されたご遺産のご寄附についてのお問い合わせが増えております。神戸大学基金では、そうしたご寄附をお考えの方に、協定を結んでいる金融機関をご紹介させていただき、お気持ちを神戸大学の発展につなげてまいります。下記の基金推進室へお問い合わせください。なお、ご寄附により相続税法上の優遇措置(寄附金控除)を受けることができます。

現金以外のご寄附

有価証券、不動産等の現金以外のご寄附をお考えの方は、基金推進室へお問い合わせください。



神戸大学古本募金 BKBプロジェクト

皆様の読み終えた書籍や不要になったDVD・CDをご提供いただき、その買取り金額が神戸大学の学生への支援に役立てられる取り組みです。合計5冊(5点)から送料無料で、運送業者が集荷に伺います。お申込みは神戸大学基金のホームページからお願い致します。

※お電話でもお申込みいただけますが、インターネットからの方がスムーズにお手続きいただけます。

■ お問い合わせ先

ご寄附の方法やその他神戸大学基金に関する事など、ご不明な点は下記までお問い合わせください。

神戸大学 基金推進室 **TEL** 078-803-5414 **E-MAIL** kikin@office.kobe-u.ac.jp

※神戸大学基金のホームページもご参照ください。

神戸大学基金

感謝の気持ちを末永く

寄附者の公表

神戸大学基金ホームページにお名前を掲載させていただきます。

※公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

| 過去の寄附者ご芳名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|-------|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|--------|----|----|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> 学費減免 図書費 奨励 奨励・奨励 奨励公認 広域奨励 神戸大学基金 学費減免 神戸大学基金の奨励 基金の奨励と基金状況 奨励申込み済(個人) 奨励申込み済(法人) 神戸大学基金の奨励 奨励上の奨励措置 | <p>公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。また、すでに掲載されている、奨励を希望される場合は、基金状況への掲載下さい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>個人</th> <th>団体</th> <th>企業・法人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成29年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成28年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成27年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成26年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成25年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成24年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>個人</td><td>団体</td><td>企業・法人</td></tr> </tbody> </table> | 年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成29年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成28年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成27年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成26年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成25年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成24年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成23年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成22年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成21年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成20年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成19年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | 平成18年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 |
| 年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成28年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成27年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成26年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成25年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成24年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成23年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成21年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成20年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成18年度 | 個人 | 団体 | 企業・法人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

寄附者銘板・寄附者記念椅子の作製

一定額以上(下記参照)ご寄附いただいた方のお名前をプレートに刻み、末永く顕彰させていただきます。

(設置場所 出光佐三記念六甲台講堂)



※公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

| | 寄附者銘板 | 寄附者記念椅子 |
|-------|-------------|-------------|
| 個人 | 10万円以上(累積) | 100万円以上(累積) |
| 法人・団体 | 100万円以上(累積) | 500万円以上(累積) |

神戸大学基金フェロー

ご寄附いただいた個人寄附者の中から対象の方、「神戸大学基金フェロー」の称号を授与し、フェローの方のみがご参加いただける「学長との懇談会」へご招待いたします。

※ご寄附いただいた年の翌年に授与し、期間は一年間。

対象者: 神戸大学基金へ年間を通じ20万円以上(寄附総額が100万円以上の方は、年間を通じ10万円以上)のご寄附いただいた方。

税制上の優遇措置

所得税の優遇措置

「修学支援事業」に対するご寄附は、確定申告を行う際に「税額控除」または「所得控除」のいずれかをお選びいただけます。「修学支援事業」以外に対するご寄附の所得税優遇措置は所得控除のみとなります)

税額控除 寄附金額(その年の総所得金額の40%を限度とする)から2千円を除いた額の40%が所得税額から控除されます。(所得税額の25%を限度とする)

所得控除 寄附金額(その年の総所得金額の40%を限度とする)から2千円を除いた額が所得税の課税所得金額から控除されます。

個人住民税の優遇措置

神戸大学は、兵庫県・神戸市・大阪府・大阪市の条例により、個人住民税の優遇措置の対象として指定を受けていますので、本学に寄附した翌年の1月1日に各自自治体地域にお住まいの方は、個人住民税の税額控除を受けることができます。確定申告すれば、手続は不要です。

《減額される所得税の目安》

例: 給与収入700万円・課税所得400万円の方が3万円寄附した場合

税額控除 (30,000-2,000)×40%=11,200円

所得控除 (30,000-2,000)×20%(所得税率)=5,600円

※上記の金額はあくまでも目安です。
一定の寄附金額または課税所得金額を超えると、所得控除の方が減税額が大きくなります。

神戸から世界へ、世界から神戸へ

明日への希望と志を持ち、世界で活躍できる
先導的人材を育成・支援するために

「文理融合」イノベーションで世界と戦う

先端研究に神戸の人文・社会科学的知見をフルに活用し
世界の課題解決に挑戦するために



神戸大学基金に関するお問い合わせ先

神戸大学基金推進室

Kobe University Fund-Raising Office

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学企画部卒業生・基金課内

1-1 Rokkodai-cho, Nada-ku, Kobe 657-8501 JAPAN

TEL / 078-803-5414 FAX / 078-803-5024

E-Mail / kikin@office.kobe-u.ac.jp



神戸大学基金 

